

千環協ニュース

— 主な内容 —

1. 通 常 総 会
2. 合 同 委 員 会
3. 理 事 会 報 告
4. 第 31 回千環協ゴルフコンペ
5. 平成 12 年度新任者教育講座
6. 特集 ダイオキシン類対策特別措置法
7. 会 員 名 簿

千葉県環境計量協会

Chiba Prefectural
Environmental Measurement Association

目 次

	頁
1. 通常総会	
総会挨拶(会長 名取 昭平)	1
挨拶(千葉県計量検定所 所長 小野 俊一)	2
通常総会報告	3
平成12年度事業計画	5
2. 合同委員会	
平成12年度 合同委員会報告	6
委員会別活動計画及び担当委員一覧	
挨拶及び通達	10
(千葉県計量検定所 指導課長 岡 和雄)	
(通達事項) 平成12年度計量証明検査結果等について (千葉県計量検定所 指導課 石渡 康幸)	
3. 理事会報告	11
4. 第31回千環協ゴルフ大会	12
千環協ゴルフコンペに優勝して(日本軽金属㈱ 石澤 善博)	
5. 平成12年度新任者教育講座	13
平成12年度新任者教育講座を受講して(習和産業㈱ 岩永 浩明)	
6. 特集 ダイオキシン類対策特別措置法(㈱環境管理センター 和田義之)	14
7. 会員名簿	17

総 会 挨 拶

会 長
名 取 昭 平



ただ今ご紹介頂きました、当協会の会長を務めさせて頂いております、セイコーアイ・テクノリサーチの名取と申します。開会に際しまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、ご来賓として、千葉県計量検定所小野所長様、岡課長様、石渡様のご臨席を賜りまして、厚く御礼申し上げます。また、会員の皆様にも多数お集まり頂きまして、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度は、通常の千環協行事の他に、首都圏環協連の担当幹事県にもなりましたので、それらに追われましてアッという間に過ぎてしまった様に思います。特に、理事の方々及び事務局をお願いしております深名さんには、多大なご協力を頂きまして本当に有り難うございました。

話はかわりますが、私、今年の2月に、米国のカリフォルニア州シリコンバレーの、機器分析主体の分析機関を訪問する機会を得ましたので、ご参考までにその話をさせて頂きたいと存じます。

今まさに繁栄を極めていますシリコンバレーでありますので、日本でのリストラ等、不況の状況からみますと、うらやましい限りの活況を呈しておりました。その分析機関では、売上も大きく伸びておりまして、景気全体が良いという理由の他に、売上を大きく伸ばすことが出来る秘訣みたいなものを2点感じました。

1点目は、機器分析の依頼を発注して下さる顧客が、分析装置をもっていない、いわゆるラボレスの会社が主体であることで、この為、受注に景気の変動を受けない、ということでした。最悪でも10%程度のダウンで収まっているとのことでした。日本での大手電子・電気メーカーでは、ほとんどのところで分析ラボをもっていますので、オーバーフローが主体の受注となります。景気が悪化しますと、とたんに受注が絞られるということになりまして、30%位はゆうにダウンしてしまいます。

もう1点は、「商売」に徹底している、ということを感じました。半導体の不良解析を商売としてしますので、それに関しますものは本当に微に入り細に入り、本当に痒いところに手が届くまでに、一連の装置、備品類、報告書、プレゼン資料等々、そろえておりました。

我々は得てして「分析技術」にこだわる傾向があると思いますので、そちらを極める方向に走ってしまいがちですが、米国では、あくまでも商売として「分析技術」を使っているだけで、すべての業務が、お客さんの要望から発している様に感じました。

環境計量証明にあてはまらないかも知れませんが、ご参考までに、紹介させて頂きました。

最後になりまして誠に申し訳ございませんが、私が会長を務めさせて頂けるのも(株)環境管理センターさんのご好意で、事務局業務を引き続き深名さんにご担当頂けるお陰であります。改めまして、厚く御礼申し上げます。

それでは、昨年1年間の千環協の活動報告、及び決算と、本年1年間の活動計画、予算についてのご審議を、宜しくお願い申し上げます。

挨拶

千葉県計量検定所

所長 小野 俊一



本日は千葉県環境計量協会の第24回通常総会にお招き頂きましてありがとうございます。

貴協会が24年間の長きにわたり環境保全に対する社会の要請に応え活発な事業活動を展開され成果を上げています事に敬意を表しますとともに日頃より県計量行政の推進に御理解と御協力を頂いておりますこと、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、行政を取り巻く規制の緩和、地方分権、行政改革等といった大きな変化の流れは私ども計量行政にあっても同様に推移しています。

規制緩和の一環として昨年は環境計量器の一部有効期限延長が図られましたが、この他にも特例市制度と言うものが規定され人口20万人以上の市は「環境行政に関するもの」「都市計画・建設行政に関するもの」「産業・経済に関するもの」で16の法律にわたって特例市の指定を希望する市に県の業務を移管する制度ができました。この中に、計量法が入っていきまして、その中身としては従来からあります、特定市と同じような検査権限等を移管することになっています。

今のところ全国で平成14年4月1日までに指定希望する市が23市程度ありますが県内の市原市、柏市は検討中とのことです。いましばらく状況を見てから対応を図らねばと思っています。

次に地方分権につきましては、本年4月より手数料が計量法による全国一律の手数料から各地方庁の条例による手数料へと改正されました。

千葉県にあっては先日の2月議会において「千葉県使用料及び手数料条例」に追加するという形で条例化されました。

今後は、各県や特定市ごとの条例により手数料の額が異なりますのでそれぞれ地方庁に御確認を頂きたいと思っております。

また、従来は国が実施していました一級基準分銅の検査業務が平成13年4月より都道府県知事へ移管となりますので、これを実施するための高精度質量標準検査室を本年度中に所内に構築する予定となっています。完成しましたら御活用頂ければと思います。

また、行政改革と致しましては、県庁の機構改革があり、知事部局10部84課3室が8部1局82課となり部や課の名称、業務配分が変わりましたので当分わかりずらくて御迷惑をおかけ致します。なお、私どもの計量検定所は特に変更はありませんでしたので従来どおりよろしく御指導、御協力御願ひ申し上げます。

長くなりましたが最後に貴協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝を祈念致しまして御挨拶と致します。

平成12年度(第24回)通常総会報告

千葉県環境計量協会

1. 開催年月日 平成12年4月14日(金) 15:00~16:20
2. 場 所 プラザ菜の花
3. 出席会員 33社(委任状20社)計 53社
4. 会長挨拶 千葉県環境計量協会 名取 昭平会長
5. 来賓挨拶 千葉県計量検定所 小野 俊一所長
6. 議 事 (1) 第1号議案 平成11年度 事業報告の件
(2) 第2号議案 平成11年度 決算報告の件
会計監査報告
(3) 第3号議案 役員選出の件
(4) 第4号議案 平成12年度 事業計画(案)
(5) 第5号議案 平成12年度 収支予算(案)

総会は キックーマン(株)川村 敏氏の司会で開催され、出席会員33社、委任状提出20社、合計53社の出席で規約16条65社中の1/2以上の出席があり総会として成立するとの宣言がされた。

名取昭平会長からは、環境計量分野とは異なる機器分析分野のアキュレル社(米国シリコンバレー)視察時の・ラボレス、・ファブレスといった事業形態の加速化が活発に進んでいる事の最新情報と、新規会員が増加している当協会を今後も発展させたい旨の挨拶があった。

続いて、来賓の千葉県計量検定所 小野俊一所長の挨拶の後、議事に入った。

総会は協会規約により会長が議長を務め、議事録作成に セイコーアイ・テクノロジー(株)前田氏、署名人に(株)環境管理センター平賀氏、(株)環境エンジニアリング宮本氏が指名された。

- (1) 第1号議案(平成11年度 事業報告の件)及び第2号議案(平成11年度 決算報告の件)について、(株)環境管理センター 青木鉄雄副会長より総会資料によって報告され、日建環境テクノス(株) 釜本信弘監事より、収支決算書を監査した結果、適正であったとの監査報告の後、全会一致で承認された。
- (2) 第3号議案 役員選出については、「議長一任」の意見に基づいて、以下の各役員を選出し、全会一致で承認された。

平成12年度新役員は以下の通り(事項へ)

平成12年度 新役員

会 長 : 名取 昭平氏 セイコーアイ・テクノリサーチ (株)

副 会 長 : 岡崎 成美氏 出光興産 (株) 千葉製油所

〃 : *菅谷 光夫氏 (株) ダイワ 千葉支店

総務委員長 : 川村 敏氏 キッコーマン (株) 分析センター

業務 〃 : 藤谷 光男氏 中外テクノス (株) 環境技術センター

企画 〃 : *荒牧 寿弘氏 (株) 新日化環境エンジニアリング

技術 〃 : 神野 基行氏 (株) 住化分析センター

広報 〃 : *田中 孝一氏 (株) 環境管理センター

監 事 : 釜本 信弘氏 日建環境テクノス (株)

〃 : *福田 文二郎氏 川鉄テクノリサーチ (株)

* 印は「新任」の方々です。

尚、副 会 長 : 青木 鉄雄氏 (株) 環境管理センター

・企画委員長 : 大北 哲氏 (株) 新日化環境エンジニアリング

・監 事 : 川岸 決男氏 (株) 東京化学分析センター

の3名が退任されました。

- (3) 第4号議案(平成12年度 事業計画(案))及び第5号議案(平成12年度 収支予算(案))について、出光興産(株)千葉製油所 岡崎 成美副会長より総会資料によって提案説明があり、全会一致で承認された。

また、優良事業所表彰としてISO9001認証取得した中外テクノス(株)環境技術センターの表彰が行われた。

その後、新会員の

* (株)日本公害管理センター 松倉 達夫氏

* (財)日本品質保証機構 杉田 和俊氏

の挨拶が行われ、平成12年度(第24回)通常総会が終了した。

以上の議事記載事項が正確であることを証明します。

署名人 (株)環境管理センター

平賀 積善 印

(株)環境エンジニアリング

宮本 敦夫 印

平成12年度 事業計画

来るべき21世紀は、環境の世紀とも言われており、具体的には、公害防止・環境保全分野、廃棄物・リサイクル分野、環境修復分野、環境創造分野の各環境産業が大きく伸びる予測がなされています。環境産業のあらゆる場面で、我々の環境計量証明データを必要とし、大きな期待がよせられることとなります。このような背景から、会員各社が21世紀に大きく飛躍できますよう、より一層の測定分析技術、精度面での向上等を図る為、次のような事業を行いたいと思います。

1. 研修会・講演会等の実施

技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。

2. ワーキンググループ・技術事例発表会の実施

技術委員会の下に、計量管理、クロスチェック等のワーキンググループ活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定技術事例の発表会を実施する。

3. 共同実験とパネルディスカッションの実施

会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いたクロスチェックを行い、その結果を基に、パネルディスカッションを実施する。

4. 情報の収集と提供

官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌等を通じて会員に提供する。

5. 経営問題懇談会

新任者教育、経営に関する勉強会等、開催する。

6. 協力関係

計量協会、日環協、首都圏環協連等の各事業に参画し、技術情報等を収集する。

7. 親睦関係

会員相互の親睦を深めるため、ソフトボール大会等の催しを行う。

平成12年度 合同委員会報告

日時 平成12年5月23日(火)

場所 プラザ菜の花

通常総会にて承認いただいた予算及び事業計画を各委員会毎に協議し、各委員長より活動方針、計画の発表があった。

当日は来賓として千葉県計量検定所 岡和雄指導課長、石渡康幸指導員が出席された。石渡指導員より「平成12年度の計量証明検査結果の報告及び平成13年度の計量証明検査予定」について通達があった。

担当委員一覧及び委員会別活動計画

1. 総務委員会

	氏名	事業所名
委員長	川村 敏	キッコーマン(株) 分析センター
委員	大川 統一	環境エンジニアリング(株) 君津支店
〃	宮本 敦夫	(株)環境エンジニアリング 千葉支店
〃	川口 弘樹	中外テクノス(株) 環境技術センター
〃	斉藤 健	〃
〃	石澤 善博	日本軽金属(株) 船橋分析センター
〃	北村 誠	出光興産(株) 中央研究所
〃	石田 貞夫	(財)千葉県環境技術センター

予定月日	活動名	活動内容
5月16日	第31回ゴルフコンペ	市原ゴルフクラブ, 優勝日本軽金属(株) 石澤氏
9月中旬	委員会	ソフトボール大会準備・打ち合わせ
10月中～下旬	委員会	ソフトボール大会組合わせ・チーム分け 新春講演会テーマ検討
11月11日	第18回ソフトボール大会	川鉄グラウンド
10月	第32回ゴルフコンペ	
1月26日	第20回新春講演会	

2. 業務委員会

	氏名	事業所名
委員長	藤谷 光男	中外テクノス(株) 環境技術センター
委員	鈴木 信久	〃
〃	吉原 武宏	月島機械(株)
〃	斉藤 充	日本廃水技研(株) 千葉支店

予定月日	活動名	活動内容
5月23日	平成12年度合同委員会	
6月	千環協ガイド発行	原稿依頼
7月末		原稿回収

8月	千環協ガイド発行	校正・印刷発注
10月		千環協ガイド発送

3. 企画委員会

	氏名	事業所名
委員長	荒牧 寿弘	(株)新日化環境エンジニアリング
委員	伊藤 浩征	(株)住化分析センター 千葉事業所
〃	鈴木 幸治	(社)千葉県浄化槽協会
〃	岡崎 成美	出光興産(株) 千葉製油所

予定月日	活動名	活動内容
7月14日	研修見学会	電力中央研究所, 清水公園, ニッカウスキー
	第一回委員会	
	PD&技術講演会	PD: クロスチェック結果について 技術講演会: 委員会にて決定

4. 広報委員会

	氏名	事業所名
委員長	田中 孝一	(株)環境管理センター 東関東支社
委員	清水 隆行	イカリ消毒(株)
〃	結城 清崇	ヨシザワL A(株)
〃	吉野 昭仁	習和産業(株)
	熊田 博	(株)クリタス
	鈴木 健一	(株)環境測定センター
	永塚 孝幸	京葉ガス(株)
	高橋 晋司	(株)環境管理センター 東関東支社

予定月日	活動名	活動内容
6月16日	第1回編集会議	掲載記事の計画
7月中旬	第2回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
7月下旬	会誌発行	No.58 印刷・発行
10月上旬	第3回編集会議	掲載記事の計画
11月中旬	第4回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
12月下旬	会誌発行	No.59 印刷・発行
1月上旬	第5回編集会議	掲載記事の計画
2月中旬	第6回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
3月下旬	会誌発行	No.60 印刷・発行
千環協ニュース発行部数 各号 336部		

5. 技術委員会

	氏名	事業所名
委員長	神野 基行	(株)住化分析センター 千葉事業所

5-1. 精度管理ワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	堀 宏一郎(松尾)	(株)環境管理センター 東関東支社
委員	永友 康浩	(株)環境コントロールセンター
〃	飯島 公勇	キッコーマン(株) 分析センター
〃	浜田 康雄	(株)上総環境調査センター
	大塚 敬嗣	(株)新日化環境エンジニアリング
	松尾 真路	(株)環境測定センター

予定月日	活動名	活動内容
平成 12 年度活動テーマ：「精度管理統一化の推進」		
平成 12 年度の活動内容：「分析装置，分析方法等の精度管理における実態調査」		
6月中旬	第1回WG	調査原案の作成，分担の決定
	第2回WG	結果まとめ，報告書作成
11月9日	WG成果発表会	調査結果の発表

5-2. 計量管理ワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	津上 昌平	習和産業(株)
委員	木寺 弘親	出光興産(株) 中央研究所
〃	佐々木 昭平	(株)杉田製線
〃	酒井 裕介	日建環境テクノス(株)
	阿部 竜也	浅野工事(株)

予定月日	活動名	活動内容
平成 12 年度活動テーマ：「計量証明事業者のための環境 ISO 取得のポイントについて」		
6月中旬	第1回WG	調査内容検討，訪問先調整
7月5日	第2回WG	取得済事業所見学のスケジュール調整
7月中旬～ 9月上旬	事業所訪問調査	取得済み事業所 2～3ヶ所を予定
10月中旬	第3回WG	発表結果まとめ
11月9日	成果発表会	発表

5-3. クロスチェックワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	和田 文男	(株)住化分析センター
委員	田中 裕治	中外テクノス(株) 環境技術センター
〃	石川 秀	(株)クリタス
〃	岩井 雅	日立プラント建設サービス(株)

予定月日	活動名	活 動 内 容
平成 12 年度活動テーマ：「セレン」についてクロスチェックを行う。 全会員事業所に実施要領を配布し、参加希望のあった事業所に共通測定試料（セレン：濃度範囲 0.01～0.1mg/l）を配布して、分析した結果を提出してもらい、測定データを解析する。		
6月上旬	第1回WG	クロスチェック実施案内
7月中旬	第2回WG	試料調整・発送
8月中旬		測定結果収集
10月末	第3回WG	測定結果解析・報告書
11月9日	成果発表会	発表

6. 経営問題懇談会 調査開発ワーキンググループ

	氏 名	事 業 所 名
委員長	菅谷 光夫	(株)ダイワ
教育 WG リーダー	岡野 隆志	川鉄テクノリサーチ(株)
調査開発 WG リーダー	庄司 一雄	住友金属鉱山(株)
委員	名取 昭平	セイコーアイ・テクノリサーチ(株)
〃	入江 諒一	東電環境エンジニアリング(株)
〃	松倉 達夫	(株)日本公害管理センター

予定月日	活動名	活 動 内 容
7月11日	新任者研修	
9月下旬	施設見学	川崎製鉄(株) 環境事業部 川崎サーモレクト廃棄物ガス化溶融炉見学

挨拶及び通達

千葉県計量検定所

指導課長 岡 和 雄

皆様方には、日頃から県が行う計量行政の推進につきまして、御理解と御協力を頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。

最近の計量法行政の動きとしては、平成12年5月8日付けで公布・施行の計量法施行令及び検定検査規則が一部改正され、いわゆる中ぬけ計量器ひょう量30kgを超え2t以下の電気式はかり（追加非自動はかり）の経過措置が平成13年度10月末日で切れますが、一定の条件を満たし平成13年10月までに申請をすると型式外計量器として知事の検定が受けられるという内容です。ただし整備が必要で申請はメーカーあるいは修理事業者を通して申請されるのが良い方法ではないでしょうか。

もうひとつは、中央の計量団体である(社)日本計量協会、(社)計量管理協会、(社)日本計量士会の3団体は、平成12年4月1日をもって統合し、新たに「(社)日本計量振興協会」として発足しました。

県では21世紀という新しい時代の到来を目前に控え、「みんなで取り組む21世紀のちばづくり」、「時代の変化の中でも安心して暮らせる社会づくり」、「未来をひらく元気な地域づくり」の3つを基本目標に掲げ対応を考えております。

終わりに、環境計量協会のますますの御発展と会員方の皆様方のより一層の活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。

(通達事項) 平成12年度計量証明検査結果等について

千葉県計量検定所

指導課 石渡 康幸

平成12年度の計量検査は大気濃度計について実施した。

検査の結果は次の通りである。

	検査事業所数	検査台数	不合格台数
一酸化炭素濃度計	10	18	0
二酸化炭素濃度計	2	3	0
ジルコニア式酸素濃度計	10	14	1
磁気式酸素濃度計	10	16	1
窒素酸化物濃度計	11	17	1
合 計	43	68	3

なお、平成13年度計量証明検査は振動レベルについて行う。

理 事 会 報 告

第134回

日 時 平成12年5月23日 10:00～12:00

場 所 プラザ菜の花

出席者 名取会長、岡崎副会長、菅谷副会長、荒牧理事、川村理事、神野理事、藤谷理事、田中理事

1. 報告事項

1-1. 日環協・第82回理事会報告（平成12年4月25日 銀座ラフィナート）

出席者 名取

- (1)日環協第27回通常総会の予定について
- (2)日環協関東支部環境セミナーについて

1-2. 首都圏環協連報告

第1回委員会報告（平成12年4月19日 都立ワーカーズサポートセンター）

出席者 岡崎、藤谷、田中

(1) 各県単報告

各県単活動の報告

(2) 首都圏研修見学会

首都圏研修見学会は7月19日 環境科学国際センター（埼玉県埼玉郡騎西町）への研修見学を行う。

1-3. 計量協会報告（平成12年4月19日 ポートプラザ千葉）

出席者 名取

- (1) 平成11年度事業報告について
- (2) 平成11年度収支決算報告及び監査報告について
- (3) 平成12年度事業計画（案）について
- (4) 平成12年度収支予算（案）について
- (5) 第24次通常総会の開催について
- (6) その他

- ・知事表彰の推薦依頼について（千環協からISO9001取得等の理由により中外テクノス㈱を推薦）

伝統ある千環協ゴルフコンペ、第31回は5月16日、市原ゴルフクラブ・柿の木台コースにて開催されました。豪快な打ち下ろしやドッグレッグホール等変化に富み、ショットの正確性が要求される自然環境に配慮した樹林の中の丘陵コースに名取会長、埼環協の伊藤会長をはじめ、日頃から鍛錬を重ねた精鋭16名が優勝を目指してスタートしました。

接戦の末、優勝の女神は石澤氏（日本軽金属株）に微笑み、栄光の優勝杯を獲得しました。

Rank	Name	OUT	IN	Gross	H・Dp	Net
優勝	石澤 善博（日本軽金属株）	47	43	90	16.8	73.2
準優勝	浅田 正三（財）日本品質保証機構	48	48	96	22.8	73.2
3位	馬場 敏（東電環境エンジニアリング株）	52	50	102	27.6	74.4
4位	北村 誠（出光興産株）	46	49	95	18.0	77.0
5位	釜本 信弘（日建環境テクノス株）	52	46	98	20.4	77.6
中間賞	菅谷 光夫（株ダイワ）	42	47	89	9.6	79.4

千環協ゴルフコンペに優勝して

日本軽金属株

石澤 善博

第31回千環協ゴルフコンペ（市原ゴルフクラブ・柿の木台コース）の優勝の栄誉にあやかり、大変嬉しく思っております。

今回から千環協のハンデキャップ見直しとの事で、3回～4回位は新ペリア方式で行い、各位の新ハンデを決める最初の大会でありました。

前日は午前中に雨が降り、雨の中での仕事（作業）で有り体調が悪いと思っていました（カゼ薬を飲んでおりました？）。

そんななか、スタートホール的一种独特な緊張感の中、スタートしました。

スタート前から、同組の岡崎さん、大北さん、馬場さんと和気あいの雰囲気の中、快適なラウンド過ごさせて頂きました。特に、勝因は馬場さんのパター、岡崎さん、大北さんの絶好調（舌好調）を見受けながら、ダボ、トリプルなどしたホールが隠しホールのハンデにはまりトータルハンデが16.8も付き優勝する事ができました。この場をかりて、同組の岡崎さん、大北さん、馬場さん有り難うございました。

本コンペが益々の盛況になる事を願ひまして挨拶に代えさせて頂きます。

幹事の皆さん、有り難うございました。



千環協会員へ入社し、環境計量の世界での第一歩を踏み出した新任者を対象とした新任者教育講座が、平成12年7月11日（火）、プラザ菜の花にて行われました。

講師である津上昌平氏（習和産業株式会社環境管理センター部長）、岡野隆志氏（川鉄テクニカル株式会社営業企画部課長）等、先輩諸氏の話に熱心に聞き入る21名のフレッシュマン（フレッシュウーマン）の真剣な眼差しが印象的でした。

平成12年度新任者教育講座を受講して

習和産業株式会社 技術課 岩永浩明



今回、入社してから初めて社外の教育講座を受講しました。本講座を受講するまで、環境計量証明業の重要性及び責任の重さについてじっくり考える余裕がなく、上司や先輩から指示された業務を確実に行うことで精一杯で、あまり理解していませんでした。

講座の内容で、『環境計量の仕事とは』という話があり、この時にP R T R法の説明を聞きました。今まで、薬品の使用量の記録は、環境ISO関係のために実施していると思っていましたが、P R T R法というものがあり、特定化学物質の環境への排出量の把握と管理方法の改善を実施するための法律に基づいたものだとは初めて知りました。

次に、環境ISO14001については、社内でも何回かの説明を受けていましたが、現在の認証登録企業の件数・産業分類の割合など、更に詳細なことについて知ることが出来ました。

労働安全衛生の講座では、高校で教わった安全の授業に似ており、実際に起こった事例を上げての説明であったため非常に理解しやすく、また、受講生からの過去に経験した危険な状態の体験談など、今後類似した作業を行う際の参考になりました。

『精度の良い測定のために』では、サンプリングと分析が両方完璧でなければ正しいデータはあり得ないとの話しを聞き、あらためて責任の重さと数字の正確さの必要性を認識させられました。また、データの保管・分析フローシートの作成・測定データに疑問が生じた時の処置の仕方などを教わり大変参考になりました。

本講座では、自分と経験年数が変わらない同業他社の方々と情報交換等する時間もあり、非常に有意義でした。

最後に、お忙しい中、判りやすく説明をして頂いた講師の方々に深く感謝致します。

ダイオキシン類対策特別措置法 (H12.1.15 施行)

株式会社 環境管理センター 技術顧問
和田 義之

平成 11 年 7 月 16 日に公布された「ダイオキシン類対策特別措置法」が、平成 12 年 1 月 15 日に施行されました。

この法律では、法の対象施設を有する事業所に対し、その施設の設置届出や、排出基準の遵守が義務づけられるとともに、これらを怠った場合の罰則規定も設けられています。

また、国・県等の役割分担や大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染について環境基準が設定されています。

1. 特定施設の届出及び排出基準

届出の必要な特定施設（大気基準適用施設、水質基準対象施設）及び排出基準は次のとおりです。

単位：ng-TEQ/m³N

大気排出基準 適用期間	新 設	既 設	
	H12.1.16～	H13.1.15～ H14.11.30	H14.12.1～
1.鉄鋼業焼結施設	0.1	2	1
2.製鋼用電気炉	0.5	20	5
3.亜鉛の回収施設	1	40	10
4.アルミニウム合金製造施設	1	20	5
5.廃棄物焼却炉 (施設の燃焼能 50kg/h 以上)	4 t/h 以上	0.1	1
	2 t/h - 4 t/h	1	5
	2 t/h 未満	5	10

単位：pg-TEQ/L

水質排出基準 適用期間	新 設	既 設	
	H12.1.16～	H13.1.15 ～ H15.1.14	H15.1.15～
1.硫酸塩 ^{ハルブ} 又は亜硫酸 ^{ハルブ} の製造の用に供する塩素又は塩素化合物による漂白施設	10	10	10
2.塩化ビニルモノマー製造の用に供する二塩化エチレン洗浄施設		20	
3.アルミニウム・同合金の製造の用に供する溶解炉、乾燥炉又は焙焼炉に係る排ガス洗浄施設、湿式集じん施設			
4.廃棄物焼却施設の排洗浄施設、湿式集じん施設及び汚水又は廃液を排出する灰の貯留施設			
5.廃 PCB 等又は PCB 処理物の分解施設、PCB 汚染物又は PCB 処理物の洗浄施設		10	
6.下水道終末処理施設			
7.5の施設を設置する事業場から排出される水の処理施設			

2. ダイオキシン類の測定及び結果の報告

設置者はダイオキシン類を測定し、県に報告しなければなりません。測定結果は県から公表されます。(法第28条)

施設区分	測定項目	測定頻度	測定方法	報告様式
大気基準適用施設	排出ガス	年1回以上	規則2条1項1号(JIS K 0311 他)	様式6
水質基準適用事業場	排出水	年1回以上	規則2条1項2号(JIS K 0312)	様式6
廃棄物焼却炉	ばいじん、焼却灰、燃え殻	年1回以上 *	厚生省令で定める方法	県で別途定める

*排出ガス又は排出水の測定時期が異なる場合にあっては、それぞれの測定時に併せて実施することが必要です。

3. 廃棄物焼却炉のばいじん等の適正処理

廃棄物焼却炉の集じん機で集めたばいじん、発生する焼却灰、燃え殻を処分する場合は、含まれるダイオキシン類を 3 ng-TEQ/g 以内となるよう処理します。(法第24条)

4. 廃棄物処分場の維持管理

ダイオキシン類により大気、公共用水域、地下水、土壌が汚染されないよう廃棄物の最終処分場を維持管理します。(廃棄物の処理及び清掃に関する法律が適用されます。)(法第25条第1項及び第2項)

5. 事故時の措置

(1) 特定施設の故障、破損その他の事故によりダイオキシン類が大気中又は公共用水域に多量に排出されたときは、直ちに、応急の措置を講じ、速やかに復旧するよう努めます。(法第23条第1項)

(2) 直ちに、事故の状況を知事に通報しなければなりません。(法第23条第2項)

6. 罰則 (法第44条～49条)

適用	罰則
1 計画変更命令・改善命令違反	1年以下の懲役又は100万円以下の罰金
2 排出基準違反	6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金(過失によるものは3ヶ月以下の禁固又は30万円以下の罰金)
3 事故時の措置命令違反	6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金
4 設置届・変更届の未届又は虚偽の届出	3ヶ月以下の懲役又は30万円以下の罰金
5 使用届の未届又は虚偽の届出	20万円以下の罰金
6 工事实施の制限違反	20万円以下の罰金
7 虚偽の報告・立入検査の拒否・忌避	20万円以下の罰金
8 大気基準適用施設が水質基準対象施設に水質基準対象施設が大気基準適用施設になった場合の未届又は虚偽の届出	10万円以下の過料
9 氏名変更届、承継届の未届・虚偽報告	10万円以下の過料

7. 汚染土壌に係る措置（法第29条～第32条）

知事は土壌環境基準を満たさない地域のうち、特に対策が必要な地域を指定し、対策計画を策定することになっています。

（汚染土壌の除去等に関する対策に「公害防止事業者負担法」等を適用。）

8. 国の計画（法第33条）

内閣総理大臣は、事業分野別の排出量の削減・目標量や、そのための措置・廃棄物減量化施策など、定める計画を作成することになっています。

9. 汚染状況の調査・測定義務

(1) 知事は大気、水質（底質を含む）、土壌の汚染状況を常時監視し、環境庁長官に報告することになっています。（法第26条）

(2) 国・地方公共団体は汚染状況を調査・測定。（法第27条）

調査測定結果は、知事がとりまとめて公表することになっています。

(3) 事業者は排ガス、排出水の測定義務。（法第28条）

測定結果は知事に報告され、知事がとりまとめて公表することになっています。

10. 環境基準（法第7条）

法第7条の規定に基づき、大気の汚染・水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む）及び土壌の汚染に係る環境上の条件について、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準（環境基準）を告示（平成11年環境庁告示第68号）により以下のとおり設定されています。

媒	体	基準値
大	気	0.6pg-TEQ/m ³ 以下
水	質	1pg-TEQ/L以下
土	壌	1,000pg-TEQ/g以下
備考 1.基準値は、2,3-7,8-四塩化ジベンゾーパラージオキシンの毒性に換算した値とする。 2.大気及び水質の基準値は、年間平均値とする。 3.土壌にあたっては、環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g以上の場合は、必要な調査を実施することとする。		

（参考） 単位：pgは（一兆分の一）、ngは（十億分の一）です。

会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			証	認 許	
			燻	煙	埃			
浅野工事(株) 環境技術研究所 代表取締役社長 田中 英雄	千葉市中央区都町 1-49-2 〒260-0001 TEL 043-234-8628 FAX 043-234-8629	阿部 竜也		○				
旭硝子(株) 千葉工場 工場長 加藤 勝久	市原市五井海岸 10 〒290-8566 TEL 0436-23-3150 FAX 0436-23-3187	安全環境保安室 渋谷 英世	○	○	○			
アース環境(株) 代表取締役 三澤 茂雄	松戸市紙敷新橋台 211-3 〒270-2221 TEL 047-389-6111 FAX 047-389-3366	酒井 敏雄	○	○	○			
(株) 飯塚 環境技術研究所 代表取締役 飯塚 貴之	松戸市紙敷 599 〒270-2221 TEL 047-391-1156 FAX 047-391-0110	代表取締役 飯塚 貴之	○	○	○			
イカリ消毒(株) 技術研究所 代表取締役社長 黒沢 聡樹	千葉市中央区千葉寺町 579 〒260-0844 TEL 043-264-0126 FAX 043-261-0791	環境科学センター 清水 隆行	○	○	○			
出光興産(株) 千葉製油所 取締役所長 高木 猛	市原市姉崎海岸 2-1 〒299-0107 TEL 0436-60-1705 FAX 0436-60-1902	品質管理課 岡崎 成美	○	○				副会長
出光興産(株) 中央研究所 所長 山田 猛雄	袖ヶ浦市上泉1280 〒299-0205 TEL 0438-75-2314 FAX 0438-75-7213	津村 修	○	○	○			
(株) 荏原製作所 薬品技術第一部 部長 楨田 則夫	袖ヶ浦市中袖 35 〒299-0267 TEL 0438-63-8700 FAX 0438-60-1171	主任 木村 仁		○	○			
(株) オートック 研究センター 代表取締役社長 石崎 寛治郎	佐倉市大作 2-4-2 〒285-8655 TEL 043-498-3912 FAX 043-498-3919	業務部長 畑堀 尚生	○	○	○			
(株) 上総環境調査センター 代表取締役 浜田 康雄	木更津市潮見 4-16-2 〒292-0834 TEL 0438-36-5001 FAX 0438-36-5073	技術部次長 草場 裕滋	○	○	○	○	○	
川鉄テクノリサーチ(株) 分析・評価事業所 千葉事業所長 菅 孝宏	千葉市中央区川崎町 1 〒260-0835 TEL 043-262-4178 FAX 043-268-5495	営業企画部 岡野 隆志	○	○	○	○		監事
(財) 川村理化学研究所 理事長 前田 博	佐倉市坂戸 631 〒285-0078 TEL 043-498-2111 内線 2210 FAX 043-498-2229	分析研究室 高田加奈子		○	○			

※：県外事業所登録

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			証	勘	
			規	積	填			
環境エンジニアリング(株) 君津支店 取締役支店長 伊佐 隆善	木更津市畑沢1-1-51 環境テクノセンター 〒292-0825 TEL 0438-36-5911 FAX 0438-36-5914	部長代理 川崎 孝則	○	○	○	○	○	
(株)環境エンジニアリング 千葉支店 支店長 金子 正昭	市川市田尻 3-4-1 〒272-0014 TEL 047-370-2561 FAX 047-370-3050	支店長 金子 正昭	○	○	○	※	※	
(株)環境管理センター 東関東支社 支社長 保坂 穎紀	千葉市中央区稲荷町 3-4-17 〒260-0833 TEL 043-261-1100 FAX 043-265-2412	副支社長 田中 孝一	○	○	○	○	○	理事 (広報)
(株)環境コントロールセンター 代表取締役社長 松尾 大邑	千葉市中央区宮崎町 231-14 〒260-0805 TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402	原田 和幸 永友 康浩	○	○				
(株)環境測定センター 代表取締役社長 小野 博利	千葉市花見川区検見川町 3-316-25 〒262-0023 TEL 043-274-1031 FAX 043-274-1032	代表取締役社長 小野 博利	○	○				
キ ッ コ ー マ ン (株) 分析センター 分析センター長 川村 敏	野田市野田 350 〒278-0037 TEL 0471-23-5080 FAX 0471-23-5188	飯島 公勇	○	○	○	○	○	理事 (総務)
基礎地盤コンサルタンツ(株) 代表取締役社長 森 研二	千葉市稲毛区長沼原51 〒263-0001 TEL 043-250-5369 FAX 043-250-5129	土居 摩記		○	○			
(有)君津清掃設備工業 濃度計量証明事業所 取締役社長 松尾 国昭	袖ヶ浦市横田 3954 〒299-0236 TEL 0438-75-3194 FAX 0438-75-7029	嘉数 良規		○				
(株)ク リ タ ス 環境分析センター長 中川 二郎	千葉県袖ヶ浦市北袖 1 〒299-0266 TEL 0438-62-5494 FAX 0438-62-5494	上迫 寿志		○				
京 葉 ガ ス (株) 技術部長 高橋 昇	市川市市川南 2-8-8 〒272-0033 TEL 047-325-3360 FAX 047-326-1759	永塚 孝幸		○	○			
(有)ケーオーエンジニアリング 代表取締役社長 小栗 勝	柏市松葉町 2-11-11 〒277-0827 TEL 0471-33-0142 FAX 0471-33-0131	小栗 勝	○	○				
(株)ケ ミ コ ー ト 代表取締役社長 井坂 晃	浦安市北栄 4-15-10 〒279-0002 TEL 047-352-1137 FAX 047-352-2615	研究技術部 代田 和宏		○				

※：県外事業所登録

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			証	随 測	
			汚	損	境			
(株) 建設技術研究所 東京支社 水圏技術部 部長 斎藤 廣	柏市明原 1-2-6 〒 277-0843 TEL 0471-44-3106 FAX 0471-44-3107	主任技師 平田 治		○	○			
公害計器サービス(株) 代表取締役社長 佐藤 政敏	市原市出津 7-8 〒 290-0042 TEL 0436-21-4871 FAX 0436-22-1617	代表取締役 佐藤 政敏	○	○				
(株) 三造試験センター 東部事業所 取締役所長 松永 恒文	市原市八幡海岸通 1 〒 290-8601 TEL 0436-43-8931 FAX 0436-41-1256	試験部長 高島 正温	○	○	○			
(株) C T Iサイエンスシステム 開発事業部 代表取締役社長 斉藤 秀晴	柏市明原 1-2-6 ヤマニビル 〒 277-0843 TEL 0471-47-4830 FAX 0471-47-4891	水質試験センター 小田 智道		○	○			
(株) ジオソフト 代表取締役社長 鈴木 民夫	千葉市美浜区磯辺 1-2-11 〒 261-0012 TEL 043-270-1261 FAX 043-270-1815	代表取締役社長 鈴木 民夫				○		
習和産業(株) 取締役社長 吉川 智夫	習志野市東習志野 7-1-1 〒 275-0001 TEL 047-477-5300 FAX 047-493-0982	環境管理センター 部長 津上 昌平	○	○	○	○	○	
昭和電工(株) 千葉事業所 所長 遠藤 政宏	市原市八幡海岸通 3 〒 290-0067 TEL 0436-41-5111 FAX 0436-41-3972	品質保証課 課長 井川 洋志	○	○	○			
(財)新東京国際空港振興協会 理事長 松井 和治	成田市東三里塚字中之台 118 〒 286-0112 TEL 0476-32-7625 FAX 0476-32-6726	調査事業課 課長 篠原 直明				○	○	
(株)新日化環境エンジニアリング 君津事業所 所長 梶原 良史	木更津市築地 1 番地 〒 292-0835 TEL 0439-55-2709 FAX 0439-54-1657	分析第二部長 荒牧 寿弘	○	○	○	※	※	理事 (企画)
(株) 杉田製線 市川工場 代表取締役 杉田 光治	市川市二俣新町 17 〒 272-0002 TEL 047-327-4517 FAX 047-328-6260	分析センター長 佐々木 昭平		○	○			
(株)住化分析センター 千葉事業所 取締役所長 加藤 元彦	袖ヶ浦市北袖 9-1 〒 299-0266 TEL 0438-64-2281 FAX 0438-62-5089	千葉営業部 伊藤 浩征	○	○	○			理事 (技術)
住友大阪セメント(株) セメントコンクリート研究所 環境技術センター 所長 五十畑 達夫	船橋市豊富町 585 〒 274-0053 TEL 0474-57-0751 FAX 0474-57-7871	所長 五十畑 達夫		○	○	○		

※：県外事業所登録

会 員 名	連 絡 場 所	連 絡 担 当 者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			証	機 測	
			燻	積	塊			
住友金属鉱山(株) 中央研究所 所長 大久保豊和	市川市中国分 3-18-5 〒272-0835 TEL 047-371-3082 FAX 047-371-3085	庄司 一雄		○	○			
セイコーアイ・テクノロジー(株) 代表取締役社長 名取 昭平	松戸市高塚新田 563 〒270-2222 TEL 047-391-2298 FAX 047-392-3238	取締役部長 安田 和久	○	○	○			会 長
(株) 総合環境分析研究所 代表取締役 高野 俊之	松戸市樋野口 616 〒271-0067 TEL 047-363-4985 FAX 047-363-4985	代表取締役 高野 俊之	○	○	○			
(株) ダイワ 千葉支店 取締役支店長 菅谷 光夫	東金市家徳 238-3 〒283-0062 TEL 0475-58-5221 FAX 0475-58-5415	支店長 菅谷 光夫	○	○	○	※	※	副会長
妙中鉱業(株) 総合分析センター 代表取締役社長 妙中 寛治	茂原市大芝 452 〒297-0033 TEL 0475-24-0140 FAX 0475-23-6405	室長 金井 弘和	○	○	○			
(有) チッソケミテック 代表取締役 奥藤 隆三	市原市五井海岸通 5-1 〒290-0058 TEL 0436-23-7120 FAX 0436-23-7140	管理部 野明 周夫		○	○			
(財) 千葉県環境技術センター 理事長 塚田 昭夫	市原市五井南海岸 3 〒290-0045 TEL 0436-23-2618 FAX 0436-23-2619	石田 貞夫		○	○			
(組) 千葉県浄化槽協会 理事長 石川 長	千葉市中央区中央港 1-11-1 〒260-0024 TEL 043-246-2355 FAX 043-248-6524	水質検査室長 鈴木 幸治		○				
中外テクノス(株) 環境技術センター 所長 鈴木 紀雄	千葉市緑区大野台 2-2-16 〒267-0056 TEL 043-295-1101 FAX 043-295-1110	営業課 鈴木 信久	○	○	○	○	○	理 事 (業 務)
月島機械(株) 代表取締役社長 田原 龍二	市川市塩浜 1-12 〒272-0127 TEL 047-359-1653 FAX 047-359-1663	試験課 須山 英敏	○	○	○			
東エ ン(株) 代表取締役社長 渡辺 孝雄	東京都文京区湯島 3-1-3MHE 〒113-0034 TEL 03-3834-7460 FAX 03-3834-7112	環境技術課長 鈴木 倫二	○	○		※	※	
(株) 東京化学分析センター 代表取締役社長 森本 薫子	市原市玉前西 2-1-52 〒290-0044 TEL 0436-21-1441 FAX 0436-21-5999	技術営業部長 川岸 決男	○	○	○			

※：県外事業所登録

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			証	機 油 濾	
			灰	積	塊			
東京公害防止(株) 代表取締役社長 小野 次男	東京都千代田区神田 和泉町1-8-12 〒101-0024 TEL 03-3851-1923 FAX 03-3851-1928	代表取締役社長 小野 次男	○	○	○			
東電環境エンジニアリング(株) 環境技術センター 取締役所長 西川 信行	千葉市緑区大野台 2-3-6 〒267-0056 TEL 043-295-8410 FAX 043-295-8407	管理部長 入江 諒一	○	○	○	○	○	
東洋テクノ(株) 環境分析センター 代表取締役社長 久保田 隆	山武郡松尾町田越 328-1 〒289-1516 TEL 0479-86-6636 FAX 0479-86-6624	代表取締役社長 久保田 隆	○	○	○			
(株)永山環境科学研究所 代表取締役社長 永山 瑞男	鎌ヶ谷市南初富 1-8-36 〒273-0123 TEL 0474-45-7277 FAX 0474-45-7280	松岸 政英 時田 秀和 矢野 茂	○	○	○	○	○	
(株)西日本環境技術センター 東京事業所 代表取締役 今井 貞美	市川市中国分 3-18-5 〒272-0835 TEL 047-372-1110 FAX 047-371-3405	三谷 広美		○	○			
ニッカウキスキー(株) 生産技術研究所 分析センター 所長 安村 弘人	柏市増尾字松山 967 〒277-0033 TEL 0471-72-5472 FAX 0471-75-0290	安村 弘人		○	○			
日建環境テクノス(株) 代表取締役 山田 勝芳	船橋市山手 1-1-1 〒273-0045 TEL 0474-35-5061 FAX 0474-35-5062	釜本 信弘		○				監 事
日 廣 産 業 (株) 環境技術センター 代表取締役社長 中田 茂之助	千葉市中央区川崎町 1 川崎製鉄(株)千葉製鉄所内 〒260-0835 TEL 043-266-8055 FAX 043-262-4340	大野 節夫		○				
日 本 軽 金 属 (株) 船橋分析センター センター長 坂巻 博	船橋市習志野 4-12-2 〒274-0071 TEL 0474-77-7646 FAX 0474-78-2437	坂巻 博	○	○	○			
(株)日本公害管理センター 千葉支店 千葉支店長 松倉 達夫	成田市東和田 348-1 〒286-0134 TEL 0476-24-3438 FAX 0476-24-2096	山田 幸男				○		
(株)日本工業用水協会 水質分析センター 所長 川島 範男	市川市南八幡 2-23-1 〒272-0023 TEL 047-378-4560 FAX 047-378-4573	副所長 大塚 弘之		○	○			
日 本 廃 水 技 研 (株) 千葉支店 代表取締役社長 荒西 寿美男	市川市相之川 2-1-21 〒272-0143 TEL 047-358-6016 FAX 047-357-6936	斎藤 充		○	○			

※：県外事業所登録

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事業区分					備 考
			濃 度			証	調 査	
			燻	煩	境			
(財) 日本品質保証機構 環境計画センター千葉分析試験所 所長 浅田 正三	千葉市中央区出洲 14-12 〒260-0023 TEL 043-247-5160 FAX 043-247-5149	所長 浅田 正三	○	○	○			
(財) 日本分析センター 会長 不破 敬一郎	千葉市稲毛区山王町 295-3 〒263-0002 TEL 043-424-8662 FAX 043-424-8660	分析業務課 須田 千孝	○	○	○			
(株) 東 関 東 代表取締役 倉沢 真也	東京都荒川区東日暮里 5-7-18 コスモパークビル2F 〒116-0014 TEL 03-3805-7920 FAX 03-3805-7902	調査設計第一部 森田 浩		○		○	○	
日立プラント建設サービス(株) 環境技術センタ センタ長 岩井 雅	松戸市上本郷 537 〒271-0064 TEL 047-365-3840 FAX 047-367-6921	環境技術 センタ長 岩井 雅		○	○			
(株) 三井化学分析センター 取締役 市原分析部長 多田 精一	市原市千種海岸 3 〒299-0108 TEL 0436-62-9490 FAX 0436-62-8294	安村 則美	○	○	○			
(株) 三井化学分析センター 茂原分析部長 堀内 正人	茂原市東郷 1900 〒297-8666 TEL 0475-22-2727 FAX 0475-22-2727	松崎 勝雄	○	○	○			
(有) ユーベック 代表取締役社長 飯塚 嘉久	木更津市久津間 613 〒292-0004 TEL 0438-41-7878 FAX 0438-41-7878	代表取締役社長 飯塚 嘉久	○	○	○			
ヨシザワ L A (株) 環境分析センター 代表取締役社長 原 功	柏市新十余二 17-1 〒277-0804 TEL 0471-31-4122 FAX 0471-31-0506	小川原正夫		○	○			
ライト工業(株) 技術研究所 所長 半田 斌	船橋市習志野 4-15-6 〒274-0071 TEL 047-464-3611 FAX 047-464-3613	飯尾 正俊		○	○			

[賛助会員]

コスモ総合開発(株) コスモ分析センター 代表取締役社長 吉川 清彦	東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-Xビル4階 〒108-0022 TEL 03-3798-3636 FAX 03-3798-3637	高島 秀明	○					
東京テクニカル・サービス(株) 東京支店・分析センター 代表取締役 吉池 詠	東京都江戸川区中葛西6-7-6 〒134-0083 TEL 03-3688-3284 FAX 03-3877-5388	農作清次郎	○	○	○	○	○	

※：県外事業所登録

－ 編 集 後 記 －

暑中お見舞い申し上げます。

今年は、盛夏の言葉がよく似合う、夏らしい日々が続いておりますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか？

千環協ニュース第58号をお届け致します。平成12年度の事業計画も決定し、各委員毎に今年もさらに活発な活動を計画しております。

広報委員会も、永年編集委員長を努めてこられました菅谷理事から新任の田中理事に広報委員長をバトンタッチしたのをはじめ、新しいメンバーが加わりました。心機一転、頑張っていきたいと思っておりますが、とにかく、より親しみやすい会誌の発行を楽しく行っていきたいと考えております。

今後も、引き続き会誌の発行に当たり、担当理事をはじめ、会員の皆様方にはより深い御協力をお願い申し上げます。

広報委員長	田中 孝一	(株)環境管理センター
委員	清水 隆行	イカリ消毒(株)
	吉野 昭仁	習和産業(株)
	結城 清崇	ヨシザワL A(株)
	熊田 博	(株)クリタス
	鈴木 健一	(株)環境計測センター
	永塚 孝幸	京葉ガス(株)
	高橋 晋司	(株)環境管理センター

千環協ニュース第58号

平成12年7月31日

発行 千葉県環境計量協会

〒260-0833 千葉市中央区稲荷町3-4-17番地
(株)環境管理センター内
TEL (043)261-1100

印刷 東金印刷株式会社

〒283-0802 東金市東金405

TEL (0475)52-2859

Fax (0475)52-5514